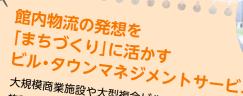
TOPICS

「事業エリアのアジア圏への拡大」

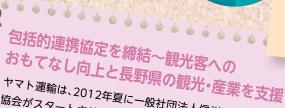
[国内での新事業創出]という市場戦略のもと、 ソリューション力、配送品質、顧客満足の向上、 アジアでの揺るぎない地位の構築を目指す ヤマトグループの新しい取り組みを 紹介します。



大規模商業施設や大型複合ビルの館内配送業務を受託し、 施設周辺における納品車両の削減によるCO2削減や利便性 の向上を実現してきたヤマト運輸は、この館内配送のコン セプトを施設内の集配だけにとらわれない「まちづくり」と 一体化させた「ビル・タウンマネジメントサービス」を提供



しています。東京駅 や、2012年4月に開 業した「渋谷ヒカリ エ」などにも導入さ れています。



ヤマト運輸は、2012年夏に一般社団法人信州・長野県観光 協会がスタートさせたカタログショッピング「さわやか信 州」の宅配業務などを受託しています。2013年3月には、長 野県を訪れる観光客のさらなる利便性向上と県全体のイ メージアップを図るとともに、ヤマト運輸のきめ細かな物



000000000000

流ネットワークを 活用して地域特性 を活かす新たな取 り組みを行うため の包括的連携協定 を締結しました。

556556666666 国際間の小口保冷輸送を試験的に実施、

海産物の海外販売サービスを支援 ヤマト運輸は、沖縄国際物流ハブと海外の宅急便ネット ワークを活用した国際宅急便を提供しており、2012年度は 国際間の小口保冷輸送を試験的に実施しました。例えば、

サービス「Rakuten Global Market」で は、2013年1月、海産 物の香港のユーザー 向け販売サービスを 実施しました。



新たな物流ルートの開拓へ トライアル輸送を実施

ヤマトパッキングサービスの「山陰流通トリニティーセン ター」では、アジアと山陰地域をより速く、より低コストで 結ぶ新たな物流ルートの開拓を目指して、中国天津市から 鳥取県米子市へのトライアル輸送を実施しました。今回は、 フェリーとRORO船を利用し、途中で韓国を東西に横断す るルートの検証を行いました。



夜間に車検を受け付けた車両を 最短翌朝にお届け

ヤマトオートワークスは、2012年9月、岡山市の車両整備 工場「スーパーワークス岡山工場」の営業を開始しました。 運送事業者様の「利便性向上・コストダウン・コンプライア ンス経営支援」をコンセプトに、岡山県内初となる24時間 365日対応でトラックやバスを点検・整備。「お客様の稼動 を止めない車検・整備」を提供します。



ネコロジー

環境にやさしい、物流をつくろう。

数多くの車両を使用して事業を営むヤマトグループにとって、限りある資源を大切にし、 より環境に良い取り組みを実施していくことは最優先のテーマです。

このたび私たちは、ヤマトグループの環境保護活動の総称を「クロネコ」と「エコロジー」とを 組み合わせて「ネコロジー」と名づけました。この「ネコロジー」を推進していくことで、 環境にやさしい物流の仕組みを創っていきます。

「ネコロジー」とは? 特設ポータルサイトも開設

社員一人ひとりが常に環境保護の意識を持ち日々の各業 務に取り組むこと。輸送にかかわる領域のみならず、さま ざまな事業を徹底的にエコロジー化し、環境にやさしい物

客様の環境保護の想 いがかなえられる サービスを考え続け ること。それが私た ちの環境活動「ネコ ロジー」です。



ポータルサイト

http://www.yamato-hd.co.jp/csr/necology/

「ネコロジー」のデザインの 電気自動車の導入を開始

ヤマト運輸は、「使わない(車両台数の抑制)」・「使うならエ コ(低公害な集配車両の導入)」・「使い方(エコドライブの 推進、走行距離の短縮)」という3つのCO2排出量削減戦略 のもと、電気自動車の導入を始めています。車体には、

ある『葉』をメインに、 初めて目にする方 ジー」が伝わる ようなデザイ ンを取り入れ ています。



平成24年度地球温暖化 防止活動環境大臣表彰を受賞

ヤマト運輸が掲げる3つのCO2排出量削減戦略に加え、京 都での路面電車を使ったモーダルシフト*や夏季節電対策 など、「ネコロジー」の合言葉のもとにヤマトグループで取 り組んでいる環境保護活動全般に対し、環境省より「平成 24年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受けました。

9

ら一度に大量輸送 が可能な海運や鉄 道に切り替えるこ

9



国内最大級の環境イベント 「エコプロダクツ2012 に出展

ヤマト運輸は、2012年12月13日~15日に東京ビッグサ イトで開催された「エコプロダクツ2012」へ、昨年に引き 続き出展しました。ブースでは、環境にやさしい仕事体験 ができるコーナーを中心に、プレゼンテーションステー ジや映像などを展開し、ヤマトグループの環境保護の取

り組みとなる「ネ 🔤 像を実感してい ただける展示を 心がけました。



00